



福住小中学校 学校通信



福住小中学校
令和5年1月13日
文責 神元 聡

世界に目を向ける 自立する 共に生きる

【 学校教育目標 】 一人ひとりが 元気で いきいきと輝く子ども

跳ね飛ぶうさぎのごとく 過去の自分を飛び越えよう！

新年明けましておめでとうございます。2023年がスタートしました。今年の干支（えと）は、癸卯（みずのとう）です。どんな年になるのかググってみますと、「癸（みずのと）」は、十干（じっかん）の最後で「次の新たな生命が成長し始めている状態」、十二支の「卯（う）」は、「温和、兔のように跳ね上がる」の意味があると書かれていました。今まで、築き上げてきたものを土台にして、ぴょんと飛躍する年になることを期待します。

さて、始業式が10日に行われました。子どもたちと希望に満ちた明るい未来について一緒に考えました。科学技術が進歩し、世の中の変化に合わせて、学校の教育も新しく変わっていくことを確認し、3学期のテーマ「行動しよう！」を提案して、式辞を終えました。これまで、私は、「気づく」ことの大切さを折に触れ、子どもたちに話してきました。それを土台に3学期は、その気づきを行動に移せる人へ、ぴょんと飛躍してほしいです。

跳ね飛ぶうさぎのごとく過去の自分を飛び越える飛躍の年になるように、福住小中学校スタッフ一同、子どもたちに全力で向き合っていこうと、やる気満々です。昨年同様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

「福住村」プロジェクト2023 映画制作始動！

～天理・福住大和高原地域の魅力発掘～

本校は、大和高原「福住村」プロジェクトとして、教育連携プロジェクトを立ち上げています。3月11日には、今年最初の市が開催される予定です。その「福住村」プロジェクト2023において、「短編ドキュメンタリー映画制作」が始動することになりました。「人を知る」ことから始め、大事にされている「言葉」や「想い」、「場所」に焦点を当て、この作品を見た人が、この地に足を運びたいくなる短編ドキュメンタリー作品（3月完成予定）が、制作される予定です。監督は、古川葵さん（奈良県出身）で、完成は3月の予定です。完成した作品は、海外の映画祭に出品したいと意気込んでおられました。今後、福住校区各所で、カメラ片手に撮影されている現場に出くわすことがあるかもしれません。学校もこのプロジェクトに、全面的に協力していこうと考えています。古川監督は、地域の方々とのご縁に感謝して、大切に制作していきたいとおっしゃっています。どうぞ、本プロジェクトに、ご理解とご協力をよろしく願いいたします。



みんなの学校プロジェクト

天理市では、地域と共にある学校を目指して、みんなの学校プロジェクトが進行中です。

本校でもイチカステーションなどの取組をどう進めていくか、学校運営協議会で熟議していただいています。具体的には、昨年、本校に設置された「食品残渣分解発酵装置」についての市教委による出前授業、公民館活動と学校教育活動とが連携して行う「凡ダンス」や「味噌づくり」など、地域の方々と一緒にあって、みんなの学校を創り上げていく予定です。

また、昨年度末、地域に呼びかけ発足した「福住小中学校を考える会」の第1回会合も、本日、「地域の部屋」で開催。福住小中学校をよくするアイデアをたくさん出していただきました。

今後も、一步一步「みんなの学校」づくりに向けて、歩み続けてまいります。

